

窯業科 history 追伸

「窯業科」ですが、開校当時は「産業科」という名称でした。平成 28 年に学科名の変更があり、平成 28 年度の入学生から「窯業科」となりました。平成 28 年度の入学生（1 学年の生徒）は、「窯業科 1 年」で、2 学年と 3 学年の生徒は、「産業科 2 年」と「産業科 3 年」となり、校内に産業科と窯業科が併存する形となりました。

平成 29 年度は、「窯業科 1 年」と「窯業科 2 年」、そして「産業科 3 年」でした。平成 29 年度末、「産業科 3 年」の生徒たちが卒業したのに伴い、平成 30 年度には「産業科」の名称がなくなり、「窯業科」へと統一されました。

逞心焼（ていしんやき）の由来となった学校教育目標ですが、開校当時と現在では少し異なっています。基本的な思いは変わりませんが、社会の変化に対応し、文言が変更されています。

開校当時

『社会で豊かな生活を共におくことを目指して、強い心と体をもったたくましい生徒を育てる』

平成 26 年以降

『明日の社会に貢献し 心豊かにたくましく そして しなやかに生きる 人間を育成する』

令和 7 年度以降

『明日の社会に貢献し 心豊かにたくましく そして しなやかに生きる』

現在は、生徒が主体となる時代になり、学校教育目標も生徒が主体（主語）となるよう、学校や教師が主体（主語）となるよう変更されました。